

# 神奈川県立川崎図書館の活動評価(平成28年度)

神奈川県立川崎図書館は、図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として活動評価を行っております。

平成28年度は、前年度に引き続き、図書館サービスの質的向上を図るため、活動の目標として、それぞれ達成すべき数値目標を設定し、全館をあげて目標達成に向けて事業展開に取り組んでまいりました。

このたび、平成28年度の活動実績を踏まえて、活動評価をまとめましたので、公表いたします。

## 活動評価の概要

平成28年度の活動評価としては、6つの基本指標のうち、「新規寄贈資料数」、「テーマによる資料展示回数」、「ホームページコンテンツの新規作成件数」と「メディア掲載件数」の4項目は「評価A」、「データベース利用者数」と「利用者向けイベント等の参加者数」の2項目は「評価B」となりました。

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
① 新規寄贈資料数	500点	566点	113.2%	A
② データベース利用者数	600人	537人	89.5%	B
③ テーマによる資料展示回数	130回	132回	101.5%	A
④ 利用者向けイベント等の参加者数	1,700人	1,464人	86.1%	B
⑤ ホームページコンテンツの新規作成件数	60件	60件	100.0%	A
⑥ メディア掲載件数	60件	72件	120.0%	A

※評価は、概括的にA、B、C、Dの4段階評価とし、各レベルを下記のとおりとしました。原則として、数値目標との比較で判断しましたが、各目標の達成に向けた取組内容や標準的な活動レベルとの比較を加味しました。

評価A：数値目標を達成し、高いレベルで活動が展開されている

評価B：数値目標をほぼ達成し、やや高いレベルでの活動が展開されている

評価C：数値目標を達成していないが、標準的なレベルでの活動は展開されている

評価D：数値目標を達成できず、標準的なレベルにも達していない

## 基本指標① 新規寄贈資料数 ー 目標達成率 113.2%

- ・ 新規資料として、社史535点、逐次刊行物31タイトル、合計566点を受け入れることができました。目標数値を超えて、目標達成率113.2%となりましたので「評価A」としました。
- ・ 社史は刊行した企業からだけでなく、研究所、出版社等からも複数冊ご寄贈いただくことができました。

〈今後の改善点〉

- ・ 多くが非売品で入手の難しい社史については、相手方に当館の特色を理解していただいた上で、ご寄贈につながるよう努め、社史コレクションをさらに充実させていきます。

## 基本指標② データベース利用者数 ー目標達成率 89.5%

- ・ データベース利用人数は、提供しているデータベース数の減少もあって、数値目標の目標達成率89.5%と目標を達成できませんでしたので「評価B」としました。
- ・ 特許検索に関しては、平成27年3月新たな特許情報提供サービス「特許情報プラットフォーム（Japan Platform for Patent Information、略称：J-PlatPat）」の無料提供が開始されよりJP-NETに近い高度な検索が自宅からできるようになりましたので、JP-NETの利用が減少しました。

### 〈今後の改善点〉

- ・ 当館ならではのデータベース提供を積極的にPRし、利用者の拡大に努めます。
- ・ 利用者対象に「資料の調べ方講座」を開催するなど、文献検索データベースの利活用と普及に努めます。
- ・ 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の広報に努め、活用と普及に努めます。

## 基本指標③ テーマによる資料展示回数 ー目標達成率 101.5%

- ・ テーマによる資料展示回数は、数値目標を達成しました。目標数値を超えて、目標達成率101.5%となり、平成27年度の実績も上回ることができましたので「評価A」としました。
- ・ 図書館活動の核と位置づけている2階での展示は「自然×ひらめき＝新技術」「ハイパフォーマンス ペーパー ～進化する紙～」「文化財を守る技術」「生活に身近な環境情報」を開催し、関係機関の協力のもと、図書館資料の魅力の発信に努めました。
- ・ 「サイエンス・ナウ(Science Now!) コーナー」などにおいて、話題性のあるテーマでタイムリーな情報提供のできる展示を工夫し、「いつも何か面白いことのある」川崎図書館の演出に努めました。
- ・ 各種講演会に関連したタイアップ展示を22回開催し、講演内容を周知・理解していただけるように努めました。

### 〈今後の改善点〉

- ・ これからもテーマに基づいて図書館が主体的に編集・加工した「コレクション構築展示」として、利用者の価値創造に役立つ「知の編集」を行い、発信していきます。
- ・ 科学と産業技術分野に関する社会的動向に注目し、さらに魅力的な展示を企画・実行していきます。

## 基本指標④ 利用者向けイベント等の参加者数 ー目標達成率 86.1%

- ・ 利用者向けイベント等の参加者数は、目標達成率は86.1%と目標を達成できませんでしたので「評価B」としました。
- ・ 展示と関連した講座や、「社史フェア」と「社史のできるまでシリーズ」を連続講座として5回開催するなどして、当館の所蔵資料を活用したイベントを開催しました。

### 〈今後の改善点〉

- ・ 利用者のニーズを先取りしたタイムリーで魅力のある講演会などを開催するとともに、開催にあたっては、より多くの方に参加いただけるよう、様々な広報媒体を活用して積極的な情報発信に努めます。

### 基本指標⑤ ホームページコンテンツの新規作成件数 ー目標達成率 100.0%

- ・ ホームページコンテンツの新規作成件数は、数値目標を達成しましたので「評価A」としました。
- ・ ブログ風の記事「司書の出番」に積極的に記事を掲載し、「科学EYES」の文献目録も掲載しました。また、気軽な情報発信として位置づけているため、この数値には含めていませんが、「クリッピング」には 27 件を掲載し、川崎図書館を身近に感じていただけるよう努めました。

#### 〈今後の改善点〉

- ・ 効果的な広報媒体として、図書館ホームページを活用し、いっそうの充実に努めます。

### 基本指標⑥ メディア掲載件数 ー目標達成率 120.0%

- ・ メディア掲載件数は 72 件と、数値目標を達成しました。目標数値を超えて、目標達成率 120.0%となりましたので、「評価A」としました。
- ・ 業界紙に取り上げられるなどミニ展示と関連講演会が 22 件、「社史フェア」など当館の社史コレクションに関連するものが 24 件、テレビ・新聞等の各メディアにとりあげられました。

#### 〈今後の改善点〉

- ・ 魅力的なイベントを企画し、その情報を積極的に提供していきます。
- ・ 当館の認知度を高めることを常に意識して、積極的な情報発信を心がけていきます。